

事業活動実績報告書

施設名	熊野幼稚園
教育理念	心身ともに健康で基礎体力のある子の育成

事業の区分 (5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
1 事業名	忍者修行
2 実施期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

3 取組概要	(取組日) 令和5年4月 日 ～ 令和6年3月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ----- 子どものあそびで練り広げられる忍者修行(遊びの中に、静かに歩く、静かに早く歩くなど日頃忍者修行で行っている動きが取り入れられている)	
	(取組日) 令和5年4月 日 ～ 令和6年3月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ----- 日々の忍者修行(室内で行うことが多い日々の忍者修行だが、時には遊具を活用して行なう)	
	(取組日) 令和5年4月 日 ～ 令和6年3月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ----- 専門指導員による忍者修行(子どもの様子にあわせたプログラムを行う)	
	(取組日) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ----- 写真添付 活動内容が分かるもの 取組に関するもの	

効果検証報告書

施設名	熊野幼稚園
教育理念	心身ともに健康で基礎体力のある子の育成

事業の区分(5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
1 事業名	忍者修行
2 事業概要	体系化された運動遊び

計画時

3 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況 全教職員が体系化された運動遊びを理解した上での実施は必須 教職員では不足している部分を専門指導者により補う
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

事業後

3についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ----- 全教職員が体系化された運動遊びを理解することで、幼児の様子にあわせたプログラムの構築が可能となり、主体的に繰り広げられる遊びにもつながる。専門指導員による指導は、教職員が不足している知識を補うだけでなく幼児のやる気を刺激している。
-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

計画時

4 事業のねらい	運動を子どもの力によって能動的に行なうような環境づくりをし、好奇心、やる気、達成感、自信、集中力を育む
----------	-----------------------------------------------------

事業後

4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ----- 全ての園児が主体的に取り組み、「できなかったことができた」という体験を味わえるようにすることを基本とした。日常の動きに、今以上に運動遊びプログラムを組み込むことができるような体制づくりが必要。
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等 ----- 毎日の忍者修行(15分程度) 月2回の専門指導員との忍者修行 を通して、身体・頭脳・心をバランスよく発達させる
---------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業後

5についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ----- 当初計画した取り組みを行うことで、運動プログラムの動きが遊びにもつながる様子があった。今後は、主体的な遊びの中での忍者修行の広がりをもたせることで脳やからだに更に育つことを目指したい。
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

計画時	6 環境構成	<p>プログラムにある動きを、用具なども用いて行う。 子どもが飽きずに集中できる短い時間で、楽しく継続して行うようにする。 子どもの様子を見ながら、プログラムを組み合わせた複雑な動きは専門指導員の力を借りて行う。</p>
	事業後	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <hr/> <p>6についての効果・検証 継続した子どもの主体的な活動の効果として、集中して話を聞くことができる子が増えている。教員からの一方的な活動となりやすいため、飽きずに楽しく主体的に取り組めるような工夫が必要。</p>
事業後	7 期待される効果 児童の姿	<p>取組を通じて期待される児童の姿や効果等</p> <hr/> <p>自分の身体を使って、自分の力で遊ぶおもしろさを知る 集中しようと思ったら集中していられる身体、きちんと座っていられる身体、友だちを思いやれる身体に育つ</p>
	7についての効果・検証	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <hr/> <p>仲間と切磋琢磨しあいながら様々な動きができるようになった。人と比較して優劣をつける姿はほとんどなく、自分自身と向き合い、小さな成功も自信につながる様子がみられた。</p>
8 効果検証 総括	<p>事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて</p> <hr/> <p>集中して人の話をきく力がつくことは、仲間との遊びや活動の理解の深まりにつながる。落ち着きなく、遊びを深めることができない子どもにとって、体系化された運動遊びの実践は非常に効果的である。遊びが深まり、集中力がでて、思いやりの心が育ち、仲間とコミュニケーションができる子どもに変わっていく様子がみられている。全ての園児へ効果をもたらすためには、引き続き幼児の育ちを検証する必要がある。</p>	